

平成 25 年 2 月 5 日

指導者各位

北海道ミニバスケットボール連盟
会長 杉本 浩



ミニバスケットボール活動における

暴力・暴言等の根絶について（通知）

日頃より当連盟の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、過日、日本バスケットボール協会及び日本ミニバスケットボール連盟より、当連盟に別添の通知が届きました。事の発端については、各種マスメディアを通して皆様は既にご承知のことと存じますが、通知の意図を十分お汲み取りの上、今後とも子どもたちへの指導にご尽力いただきたいと思います。

上記に関連してつい最近、暴力的な指導に対する道内の保護者からの苦情が、直接日本ミニ連へ届いていることが分かりました。似たような状況が相次いで起こったので、昨年 3 月に道ミニ連では、体罰・暴言の防止や保護者との協力体制について通知を出しております。多くの指導者の皆様におかれましては、その通知やミニバスの基本理念である「友情・ほほえみ・フェアプレー」の精神を踏まえ、日々子どもたちへの指導・育成に精力を注いでいております。それがほんの一握りの指導者の誤った行為があるごとに、ミニ連全体が不信感を持たれ、ひいてはミニバスの普及・発展にとって大きな障害となっています。「熱意の余り」とか、「理解してもらっている」ということはもはや通用しません。今後とも指導に当たっては、未来ある子どもたちがミニバスを通して「心・技・体」を高めていくことを願い、決して暴力・暴言、パワハラ・セクハラ等の不適切な指導が行われることのないように、また、風通しの良い少年団運営がなされるように重ねてお願い申し上げます。